



猛威を振るうデルタ株

駅職場を中心に感染者急増

新型コロナウイルスが感染力の強いデルタ株に置き換わり、猛威を振るっている。国内感染者はすでに100万人を突破し、一日の新規感染者数は1万5千人を超え、医療体制は逼迫し、きわめて危機的な状況である。

JRグループの各職場でも感染者が増え続け「職場へ行くのが怖い」「会社はしっかりと感染対策をしてほしい」との不安の声があがっている。

8月12日現在、東京支部がつつかんでいる駅の感染者数は次の通りである。S駅11人、M駅4人、I駅3人、T駅1人。特にS駅では7月27日に2人の感染が判明して以降、8月12日までに11人に感染拡大し、クラスターともいえる状況となっている。現場社員からは「不安・不満」の声が広がっている。

S駅社員の声

⇒濃厚接触者が陰性でも、すぐに通常勤務させるのはおかしい。2回目の検査で陽性になることもある。しばらくの間は自宅待機させるべきだ。

⇒濃厚接触者として支社にPCR検査を受けに行った。自分の時間で行くのは納得いかない。

⇒時短勤務の妊婦が感染の不安のため、「免除」を希望しているのに会社は認めない。

⇒家族に病弱者がいて、自分が感染源になる不安がある。免除にしてほしい。

⇒濃厚接触者だけではなく、すべての社員にPCR検査をしてほしい。

これだけ感染拡大すると「会食の禁止」「懇親会の禁止」だけではおさまらないのではないかと。実際に『自宅と会社の往復』だけで感染した社員もいる。まさに「どこで感染してもおかしくない」状況である。

しかも許せないのは管理者の中には「いたずらに怖がるな」と言っている人もいる。現場で働く社員が不安な気持ちになっているときに、このような発言をする管理者がいるのは、怒りを通り越して情けなくなる。

とにかくこれ以上感染者を増やさないため、感染者の出た職場での「全社員のPCR検査」と「濃厚接触者の自宅待機」を早急に実施すべきだ。

厚生労働省のホームページより 一部要約

濃厚接触者とはどのような人でしょうか？

感染された方と近距離で接触、あるいは長時間接触し、感染の可能性が相対的に高くなっている方を指します。必要な感染予防策をせずに手で触れること、対面にて1m程度以内で15分以上接触があった場合に濃厚接触者と考えられます。保健所が（積極的疫学調査）を行い、個別に判断します。としています。職場での調査は誰がどのように調べましたか？

働く妊婦・事業主の皆さまへ！

働く妊婦の方は、新型コロナ感染症への不安やストレスを抱える場合があります。男女雇用機会均等法に基づく母性健康管理上措置として、新型コロナ感染症に関する措置を新たに規定しました。女性労働者の方は、主治医等から指導があった場合、指導事項を的確に伝えるため母健連絡カードを書いてもらい、事業主に提出しましょう。

指導の例：感染のおそれが低い作業への転換または出勤の制限（在宅勤務・休業）があります。

厚生労働省は、妊婦の方々の安心・安全の確保に全力を尽くしてまいります。としています。不安解消に向けて積極的に活かしていきましょう！